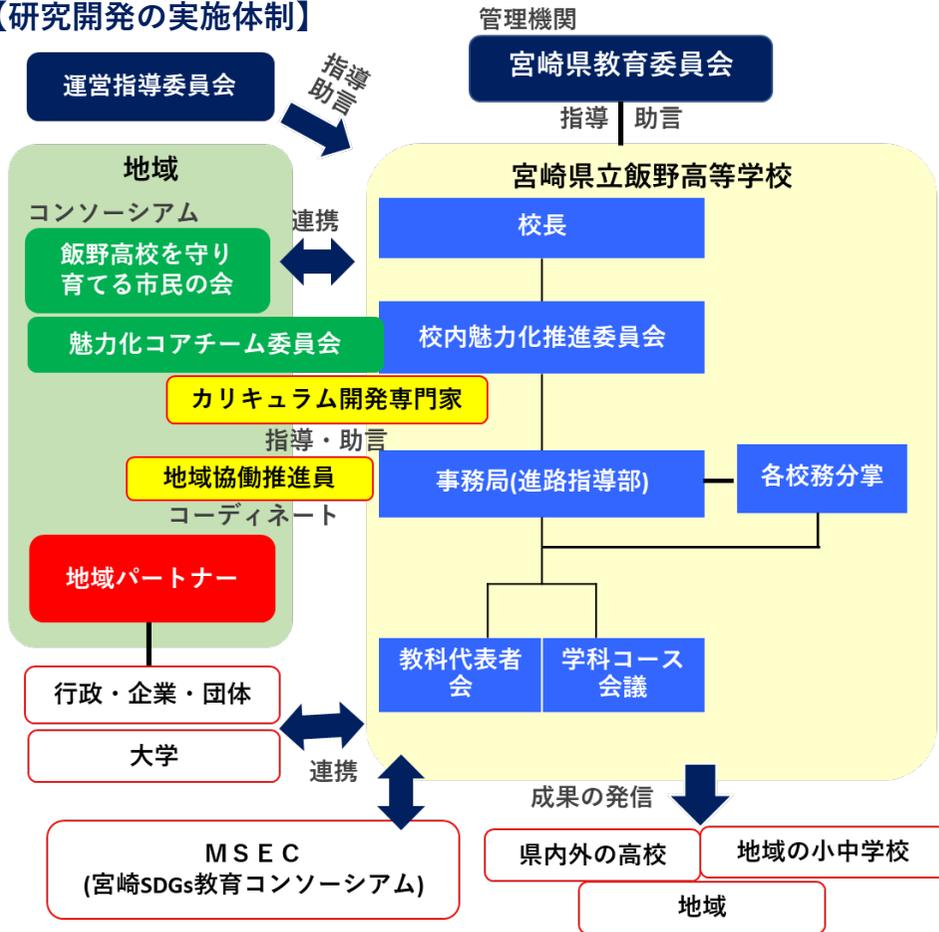


地域価値を創造するグローバル・ヒーロー育成に向けたカリキュラム開発および実践

本事業に取り組む背景

- ①市内唯一の県立高校である飯野高校が地域に欠かせない存在であること。
- ②本校の位置する宮崎県えびの市は、国内の少子高齢化が進む過疎地域と同様に多くの社会課題を抱えていること
- ③これまで取り組んできた「地域学」を発展させ、新たな価値の創造と地域社会で活躍するグローバル・ヒーローを育成
- ④3年間を見通した体系的・系統的な実践型地域課題解決学習のカリキュラムを開発・実践やその体制構築
- ⑤地域団体、事業所をはじめ、大学などと連携し地域における課題意識や貢献意識を持つ人材育成による地域振興の核としての機能を強化

【研究開発の実施体制】



【令和3年度の目標】

- (1)地域学のカリキュラム化における研究総括
- (2)持続可能な地域との協働体制の完成
- (3)地域人材の還流のしくみづくりについての研究
- (4)研究成果の県内外への発信と波及

【取組状況】

学科コースに応じた特徴あるカリキュラムの完成



地域で探究の基礎を学び
2年生以降の実践へ

魅力化コアチームと地域
サポーターの連携による
地域学の取組みの継続性

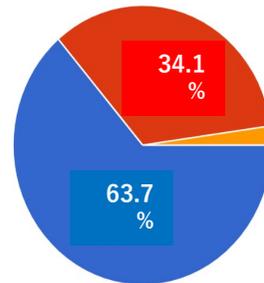
- 評価基準等の策定
- カリキュラムマネジメントの推進
- 教科における探究的な学びの実践
- 地域サポーター制度の構築
- 成果の普及活動
- カリキュラムに関するアンケート調査・分析

- ・地域と協働したプロジェクトの実践
- ・海外(オンライン)から地域課題を考える実践
- ・高校生サミットや探究発表会への参加
- ・日常的な地域サポーター/外部講師の活用
- ・大学との連携協定(大正大学・南九州大学)

【成果と課題】

地域協働の探究活動に取り組んだことはよかったか

- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない



カリキュラム開発の成果として主体的に探究に取り組む生徒が増えたことや地域や社会に関心をもつ生徒が増えるなどの変容が見られ一定の効果があった。

地域、高校に応援する雰囲気がある	93.8 %	地域を外からの視点で考えた	95.4 %
地域に尊敬、憧れている大人がいる	75.8 %	探究を通して自分のできることが増えている	92.2 %
地域の課題や事象に関心がある	89.6 %	地域で働きたい	70.2 %

※飯野高校を守り育てる市民の会構成団体

えびの市 えびの市議会 飯野高校同窓会 えびの市教育委員会 えびの市自治会連合会 えびの市農業協同組合 えびの市商工会 えびの市観光協会 えびの市地域婦人連絡協議会 えびの市子ども育成連絡協議会 えびの市スポーツ協会 えびの市社会福祉協議会 えびの市民生委員児童委員協議会 えびの市教育・保育施設園長会 えびの市青少年育成市民会議 えびの市高齢者クラブ連合会 飯野高等学校PTA えびの市中学校校長会 宮崎県議会 えびの市PTA連絡協議会